



お焚き上げの様子は、飯南町観光協会から差出人に届いた手紙は未開封のまま、やぐらに納められます(差出人が分かる場合)



届いた手紙は未開封のまま、やぐらに納められます



令和3年1月17日(日)のどんど焼き

「いっふみの日」の誕生

「ありがとう」や「ごめんなさい」。伝えそびれた感謝やおわびの気持ちなどが綴られた手紙を、優しく受けとめてくれるのが「優便ポスト」です。

優便ポストは、平成28年11月23日「いっふみの日」に、(一社)飯南町観光協会が設置。きっかけは、里みちこさん(飯南町生まれ、大阪府在住の詩人)と地元有志の皆さんの働きかけでした。

当初は、銀色の四角いポストが谷笑楽校の昇降口に設置されていましたが、令和2年1月に、現在の場所に移動。木造の校舎に調和するように、温かみのある木製ポストになりました。

お焚き上げ後に届いたお礼の手紙 (一部を抜粋)

拝啓
年末から大雪となり、近年の暖冬に慣れているのでびっくりの年明けとなりました。皆さまも元気で新しい年をお迎えになられたことと存じます。旧年中はお世話になり、ありがとうございました。また、この度はご丁寧なお便りやとんどのお焚き上げの様子もご報告していただき、大変うれしく拝見いたしました。天高く父母たちへと煙が登って行ったことでしょうか。心からお礼申し上げます。80通もの思いを乗せた手紙が登る様は、その場に居たらなお、胸に迫るものがあることでしょうか。お世話くださる住民の方々にもお礼申し上げます。ありがとうございました。

ポスト側面に書かれているのは、「ありがとうとごめんなさい」という里さんの想いが詰まった詩。5年経った今でも、どこかの誰かと誰かの想いを待っています。

想いは空高く

人それぞれの想いがつまった手紙。届け方は人それぞれです。直接投函する人もいれば、郵送する人も。手紙の中身を知っているのは、手紙を書いた本人だけで、他の誰も知ることとはできません。届いた手紙は、谷自治振興会と飯南町観光協会の手で、大切に管理されているからです。

優便ポストに届く年間100通近い手紙。書いた人の想いは、どこに行くのでしょうか。

例年1月、谷公民館のとんど焼きに併せて、お焚き上げ祭を開催。届いた手紙は、正月飾りのしめ縄や書初めと共に清められた後、焚き上げられ、想いは空高く舞い上がりまします。(今年届いた手紙は、来年1月8日(土)にお焚き上げ)。

「ありがとう」や「ごめんなさい」。伝えきれなかった気持ちや、言いきりた言葉はありませんか。

■問い合わせ
(一社)飯南町観光協会
76・9050

応援団として見守りたい

里みちこさんに出会ったのは8年前のことです。飯南町10周年記念式典の講演をお願いするため、神戸まで会いに行きました。快く引き受けてくださったのを覚えています。

講演の際、里さんは、「伝えそびれた感謝やおわびの気持ちを手紙にすること、胸のつかえをとる『優便』と、その『優便』を投函するポストがあるといいですね」とおっしゃいました。その後、たくさんの方の協力で設置された優便ポストは、全国でここにしかありません。

今も全国で「優便ポスト」を紹介してくれている里さんに負けじと、私も約2年前からフェイスブックで毎日投稿しています(笑)

これからも応援団として、優便ポストを見守ってまいります。



地元有志の一人、永井康隆さん(谷)

郵送する場合の宛先

〒69013514
島根県飯石郡飯南町井戸谷39311
谷笑楽校
優便ポスト宛
※必ず「優便ポスト宛」と記載し、封書で投函



「ありがとう」や「ごめんなさい」
伝えきれなかった気持ち
言いそびれた言葉はありますか
「ありがとう」や「ごめんなさい」
伝えなかつた心のわずれもの
その想いをしたためたお手紙や
無言で伝えにきた人を受け止める
やさしいポストです
心のつかえを取り払い、笑顔に
なっていたら幸いです
投函・郵送された手紙は開封する
ことなく、一月のとんど焼きにて
天高く空にお届けします
(一社)飯南町観光協会

どんな気持ちも
受けとめてくれる
優しいポスト

優便ポスト

飯南町井戸谷、谷笑楽校。
ヒノキでできた温かみのあるポストに、手紙を投函する人の姿があります。
木製ポストの名前は「優便ポスト」。
どんな気持ちも受けとめてくれる
優しいポストです。